



ネイチャーセンターだより

2022年9・10月号

新・いきもの図鑑



サラシナショウマ（晒菜升麻）

7月号でヤマブキショウマと、その他に「ショウマ」とつく他人の空似の植物が10種類以上あることをご紹介しましたが、このサラシナショウマはそれらの名前の「本家」のような植物です。ショウマ（升麻）は、この植物の根茎を生薬として用いる時の名前なのです。

8月下旬から9月に、林のヘリや草原に咲く高さ40cm～1.5mほどのキンポウゲ科の植物で、自然学習林でもよく見られます。細かく分かれた葉の上につき、背の高い1本の茎の先に、小さい白い花が細長いブラシの形に群がってつくので、暗い木陰でもよく目立ちます。花が終わった後に実が付きませんが、これは枯れた後も形がよく残っていて、ドライフラワーとして生け花の材料とされることもあるそうです。

【参考文献】
・梅沢俊、2018. 北海道の草花. 北海道新聞社.
・高橋勝雄、2017. 野草の名前「秋・冬」. 山と溪谷社.
・フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』サラシナショウマ/ショウマ (植物の名) 2022年6月29日閲覧

カビ？コケ？いいえ、地衣類です

7、8月は雨や霧が多かったせいか、緑が青々とし、キノコ類もよきによきと生えているのをよく見かけました。林の緑が美しく見える中、ネイチャーセンターを訪れたお客さんによく聞かれたのが、この写真の生きもの。

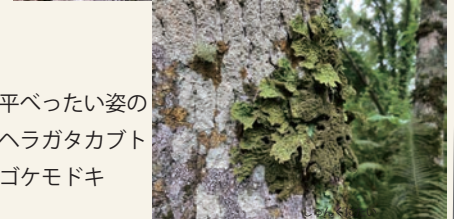
一見、カビやコケのように見える木々に付着したもの。これは地衣類という生きものです。地衣類は、菌類が藻類と共生している生きもので、菌類は住みかたと水分を供給し、藻類は光合成によって栄養をつくり、互いに助け合って生活をしています。分類上は菌類、つまり、キノコと同じ仲間です。フサフサとコケにみえるものから、海藻に見えるものまで、地衣類の色形は様々あります。

木を枯らしていると思う方もいると思いますが、地衣類は木に付着しているだけなので、木を枯らしたり、病気にしたりすることはありません。その証拠に、看板や石など、水分や栄養の通った生きた木でなくても地衣類は付着しています。もともと枯れている木に付着していることも多いので、そのように見えるのかもしれませんがね。

トピックス



フサフサとした見た目のハナゴケの仲間



平べったい姿のヘラガタカブトゴケモドキ



樹木名看板についたハナゴケ類

【参考文献】
・盛口満、2017. とんりの地衣類. 八坂書房.
・国立科学博物館ウェブサイト-地衣類の探究. 2022年8月28日閲覧

見どころMAP

※マダニ・ヌカカ・カを防ぐため、散策時は長袖・長ズボンに、虫よけスプレーや蚊取り線香の使用など、虫よけ対策をおすすめします。



ヒバリコースの木道は、一部が破損しているため通行止めです。海岸沿いに迂回路を設置しておりますので、そちらをご利用ください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

キタキツネコースの木道沿いでは、アッケシソウが紅葉しはじめています。

カラ類やエナガ、キツツキ類などの小鳥が見られます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

9・10月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	干潮前後に、干潟や消波ブロックに降りている姿が見られます。風蓮湖や春国岱上空を飛んでいることもあるので、上空もチェックしてみましょう。繁殖の季節が終わったため、巣立った幼鳥も見られるかもしれません。
タンチョウ	○	春国岱周辺の干潟や湿地で採食している様子や休んでいる様子が見られます。幼鳥を連れて親鳥は警戒心が強いので、動きをとめてこちらを見ていたり、首を伸ばして周囲を見ている場合は離れるようにしてください。
シギ・チドリ類	○	9月下旬ごろまで、干潮時に春国岱湾や根室湾の干潟で採食している姿を観察できます。昨年は、メダイチドリ、キアシシギ、チュウシャクシギ、トウネンがよく観察され、10月にミヤコドリが渡来しています。
カモ類・ハクチョウ類	○	9月中旬ごろから、カモ類がよく見られるようになります。ヒドリガモとオナガガモが多く、コガモやマガモなども少数見られます。10月中旬ごろからオオハクチョウが見られるようになります。
春国岱	野鳥	上記以外に、カワラヒワ、ヒバリ、ハクセキレイ、トビ、アオサギ、ウミネコなどが見られます。運がいいと、森の方でクマゲラの声を聞くこともできます。
	花	海岸では、エゾオグルマ、ウンラン、ウラギクなどの花が見られ、ハマナスは実が赤く色づき始めます。アッケシソウの紅葉は9月中旬から10月がピークです。
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、エナガ(シマエナガ)、キツツキ類(アカゲラ、コゲラ、オオアカゲラ)が見られます。
	花	エゾトリカブト、ナギナタコウジュ、ゲンノショウコ、エゾゴマナ、ミゾソバ、タニソバ、サラシナショウマなどの花が見られます。
	紅葉	9月下旬から順次、ツタウルシ、イタヤカエデ、ヤマブドウ、ミズナラなどが紅(黄)葉し始めます。

この秋のシギの記録

■1 キョウジョシギ

春（4～6月）と秋（8～9月）に風蓮湖・春国岱に立ち寄る旅鳥ですが、春に観察する機会が圧倒的に多く、また羽数が大きい群を見る機会も多いのです。しかし今年は、8月に春国岱で50羽前後の群が2回、見られました。

2022年8月7日 9羽、春国岱湾（古南幸弘）

2022年8月9日 49羽+、春国岱中谷地の中州で休息（古南幸弘・岸田佳乃）

2022年8月11日 春国岱湾で8羽、春国岱駐車場付近の海岸で3羽、中谷地で、46羽が採食（古南幸弘・大久保明香）



*写真は2017年8月30日に春国岱で撮影

■2 チュウシャクシギ

2022年8月27日 市内在住の板澤直樹さんが、春国岱駐車場の北側の干潟にチュウシャクシギ約40羽の群が飛来したのを観察されました。（写真・記録提供 板澤直樹さん）

春国岱では、下記のように、主に8月下旬から9月上旬に、チュウシャクシギの多数の群（20羽以上）が記録されたことがあります。近年はそのような観察例はあまり多くはありません。

1999年9月6日 62羽

2006年8月24日か25日 60羽

2016年8月31日か9月1日 23羽

2018年5月23日 130羽+

2018年9月2日 39羽



*写真提供 板澤直樹さん

春国岱クイズ

チュウシャクシギは英語で Whimbrel と言いますが、他に、セブン・ウイッスラー（Seven Whistler）という呼び方があります。この古い英語の名前は、チュウシャクシギの、7という数字に関係のある、ある行動に由来しています。

さて、その行動とは、なんでしょうか？

- ① 鳴く
- ② 食事をする
- ③ フンをする



*写真は2018年8月29日に春国岱で撮影したもの

◆9/27
春国岱ボランティアゆるふわ体験◇日 時：2022年9月27日(火)
10:00～12:00

※雨天の場合は10月4日(火)に順延

◇内 容：すがすがしい秋の林で春国岱ネイチャーセンターのボランティアグループ「スंक」のメンバーと自然学習林内の観察路の管理作業を体験します。今回は近年姿を見せなくなったコマドリの生息環境を整える作業を行います。

◇定 員：10名

◇対 象：春国岱ネイチャーセンターでのボランティア活動に興味のある18歳以上の方

◇集 合：春国岱ネイチャーセンター

◇持ち物・服装：野外で活動できる服装

長靴・帽子・軍手・飲み物・タオル・マスク(保険はこちらで加入します)

◇申込メ切：9月26日(月)16時

◆10/2
春国岱・秋のハイキング◇日 時：2022年10月2日(日)
9:30～12:00

※風雨の強い時は10月10日(月・祝)に順延

◇内 容：春国岱の草原や、7月に再開通したアカエゾマツコースを歩き、アッケシソウの草紅葉や、エゾシカの群などを観察します。

◇定 員：20名(先着順)

◇対 象：小学生～おとな(小学生以下は保護者同伴；17歳以下の方は保護者の方に参加申込確認書にご署名いただけること)。ご自分の足で往復4kmの行程を歩ける方。

◇集 合：春国岱ネイチャーセンター

◇解 散：春国岱駐車場

◇持ち物・服装：長靴、防寒具上下、手袋、帽子、タオル、マスク、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡(貸しあり・先着順)

◇参加費：1人100円(保険代)

◇申込メ切：9月30日(金)16時

◆10/30
風蓮湖・みずどり観察会◇日 時：2022年10月30日(日)
9:30～12:00

※風雨の強い時は11月3日(木・祝)に順延

◇内 容：風蓮湖にわたってきたオオハクチョウなどの鳥たちを観察します。

◇定 員：20名(先着順)

◇対 象：小学生～おとな(小学生以下は保護者同伴；17歳以下の方は保護者の方に参加申込確認書にご署名いただけること)。

◇集 合：春国岱ネイチャーセンター

◇解 散：春国岱駐車場

◇持ち物・服装：長靴、防寒具上下、手袋、帽子、タオル、マスク、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡(貸しあり・先着順)

◇参加費：1人100円(保険代)

◇申込メ切：10月28日(金)16時

★お申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名、お電話番号、小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください。
根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター 電話 0153-25-3047 メール nemu_nc@marimo.or.jp

募集集中！

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3火曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ 答 ①。「ホイピピピピピ」という、7つの音からなる声をよく出すからです。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL: 0153-25-3047 FAX: 0153-25-8570

Eメール: nemu_nc@marimo.or.jp

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.htmlFacebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間 9月 9:00～17:00 / 10月 9:00～16:30)

9月 7・14・20・21・26・28日 10月 5・11・12・19・26日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録